

2024年1月4日

「JOZNOM～上手なお酒の飲み方外来～」プログラムによる飲酒量低減治療経過報告

当院（医療法人優なぎ会雁の巣病院）では下記の臨床研究を実施しております。実施におきましては、当院倫理委員会の審査を受け承認を得ています。なお、本研究は2024年3月1～2日に開催予定の第35回九州アルコール関連問題学会で発表予定です。

本研究は、診療録より一部抜粋して行う調査となります。したがって個々の患者様への研究協力は致しません。ホームページ上に研究情報を公開し、該当者からの申し出がなければご承諾いただいたものと判断させていただきます。しかし、本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療録や診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく下記問い合わせ先にご連絡ください。

研究目的

今まで多くのアルコール依存症専門医療機関は重症のアルコール依存症患者の治療を担い、主に酒をやめるといふ断酒治療を展開してきました。しかし、その下にはいわゆる依存症予備軍といわれる方が全国に約980万人もおられ、近年は、依存症になる前の予防対策としての「節酒治療」「飲酒量低減治療」が広がりを見せています。それに伴い、当院は2022年6月から「JOZNOM～上手なお酒の飲み方外来～」プログラムを開始致しました。今研究は、この「JOZNOM～上手なお酒の飲み方外来～」プログラムが飲酒問題の早期介入・予防支援に及ぼす影響について検討することを目的としております。

研究対象

2022年6月～2023年12月に「JOZNOM～上手なお酒の飲み方外来～」プログラムに参加された方

研究方法

2022年6月～2023年12月に「JOZNOM～上手なお酒の飲み方外来～」プログラムに参加された方の診療録及びJOZNOM記録用紙等を調査します。

個人情報の取り扱い

本研究は個人のプライバシーに関しては細心の注意を払うとともに、調査の分析、結果に

ついて個人が特定できるような公表の仕方は致しません。また、この調査で得られたデータが、本研究の目的以外に使用されることはありません。

全国的に節酒治療と言われる外来診療やカウンセリングはありますが、体系化した飲酒量低減治療プログラムはまだまだ発展途上でございます。今研究を行うことで、一人でも多くの方の未病・予防支援へとつながることと、今後の新たな依存症治療の発展に寄与出来ればと考えております。何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

研究指導及び研究者

【研究指導者】 雁の巣病院 医療相談部 神谷直美

【研究者】 雁の巣病院 医療相談部 相談支援課 稲葉宣行

お問い合わせ先

【連絡先】 医療法人優なぎ会 雁の巣病院 医療相談部 相談支援課 担当：稲葉宣行

〒811-0206 福岡県福岡市東区雁の巣1-26-1

T E L 092-606-2861 F A X 092-607-2211